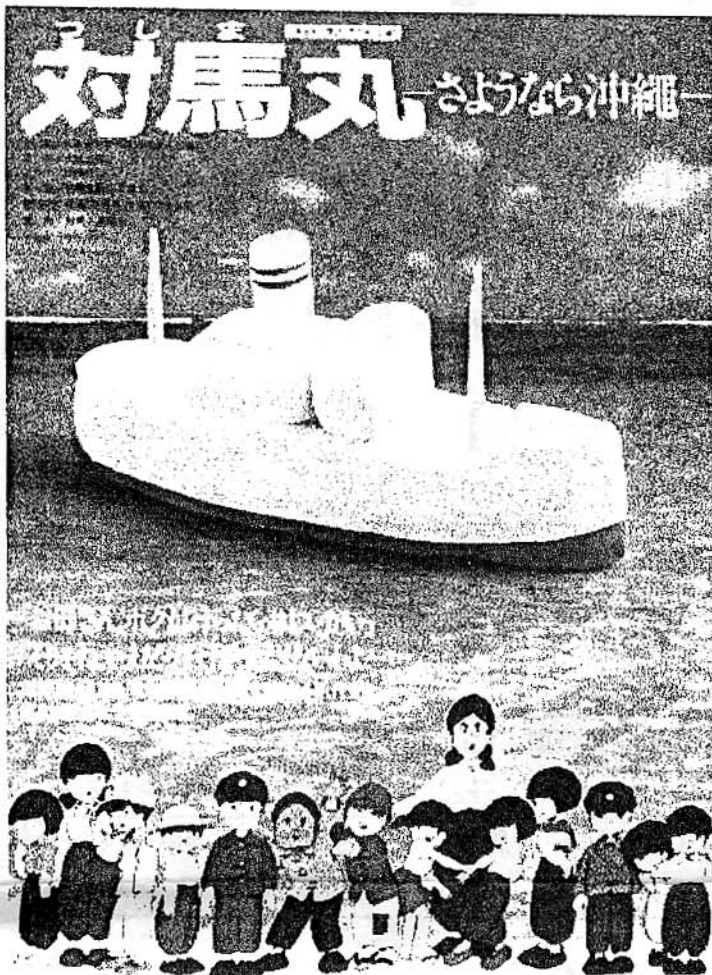


催し物ご案内



★アニメ「対馬丸～さよなら沖縄～」(75分)

昭和19年8月22日、学童疎開船対馬丸は米軍潜水艦の魚雷攻撃（3本命中）を受けて沈没。護衛艦の救命を受けることなく、1661名の乗客のうち、生存者わずか156名という大惨事です。犠牲者は罪もない学童や幼い子、一般人ばかりという他に類を見ない悲劇でしたが、この事実は戦後まで知らされることはありませんでした。



☆くるま座で語る「学童疎開」

戦後60年、東京麻布からの疎開児童と当時疎開児童を受け入れた足利の方々が語り合います。学童疎開の実態から平和の尊さを学びましょう。

★ドキュメンタリービデオ「検証！核兵器の闇

～それは人体実験だった～」他

原爆投下の真実と明らかにされることのない核兵器の闇(核の保管と核兵器の実験等)を照らし出す。

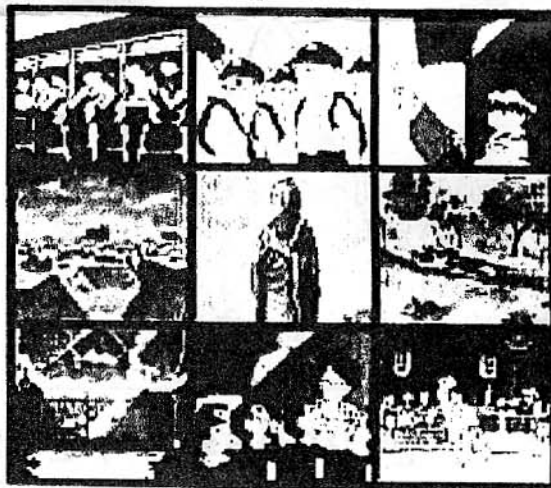
☆朗読劇団「太田大空襲を語る会」公演

「戦渦に生きた子どもたち

—1945年2月10日・太田大空襲—

お隣の街、太田には、戦争中、中島飛行機製作所という軍需工場があり、そのためアメリカ軍による過酷な空襲を受けた。地域で語り継がれる戦争体験をもとにしたオリジナル朗読劇を、当時を知る元女性教師をまじえ、太田市内の女性たちが演じる。

十六地蔵物語



☆アニメ「十六地蔵物語～戦で犠牲になった花嫁～」(26分)

大阪から徳島県貞光町に集団疎開をした子どもたちのうち、3年生16名が疎開先の真光寺の焼失と共に命を失った。戦争の犠牲になった幼き子どもたちをリアルに描き出す。

★紙芝居「火の海になったうつのみや」

それは小雨の降る夜でした。10万個の焼夷弾が宇都宮市内に落とされ、市街地の半分が焼失した。米軍爆撃機による空襲は約2時間20分におよび、620人以上の命が奪われた。紙芝居を通じて平和の尊さ、命の尊さを訴えます。

語り手—宇都宮平和記念館をつくる会 大野幹夫さん